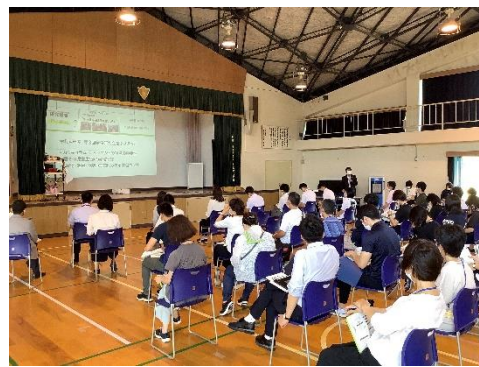


第3回 全校研究会

「多様な児童生徒に自分らしい社会貢献を実現する授業」 ～学習評価をとおして多様な児童生徒の幸せに生きる力を育む～

7月25日、第3回全校研究会を行いました。今年度も各学部の代表クラスの授業実践を事前視聴という形で YouTube の限定公開にて教職員で共有しました。当日の前半は神戸親和女子大学の武富博文先生から実践の講評を含めたお話をしていただきました。カリキュラムマネジメントの視点、個々の児童生徒の実態把握、「習得・活用・探求」の文脈のある学習づくりをキーワードに、今後の実践に生かすことができる内容でした。



後半は学部を超えた少人数のグループを作り、「単元計画を立てよう」というテーマでグループワークを行いました。校外学習へ向かうまでの学習を設定し、同じ単元で各学部の取組をどのように考えていくのかを話し合いました。その後、単元計画を立てる手順や教科の視点、実践内容等を照らし合わせ、共通する点や学部ごとでつけておきたい力等を協議しました。代表グループの発表後に京都府教育委員会特別支援教育課水島指導主事よりグループワークの講評をいただきました。



【全校研究会の感想】



資質・能力の三位一体という部分で、習得・活用・探求のサイクルを意識し、教科や領域等を意識した授業の組み立てをしたい。



学部で実際に授業をつくる様子、個々や学年に応じ将来（高等部ではすぐ先の就労）に向けて必要な力の具体例を知ることができた。